

CABLINE®-VSF

Part No.: 20645-0**T-01,3049-0**1

Instruction Manual

3	S25500	2025/12/19	T.Onishi	M.Muro	T.Masunaga
2	S14534	2014/12/22	H.Aoki		E.Kawabe
1	S14257	2014/06/30	H.Ikari		E.Kawabe
0	S13474	2013/12/10	H.Aoki	J.Tateishi	E.Kawabe
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製コネクタ CABLINE-VSF を安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

1. コネクタ名称・品番

・プラグコネクタ

品名/品番: CABLINE-VSF plug shell assembly/ 20645-0**T-01

品名/品番: CABLINE-VSF plug shell/ 3049-0**1

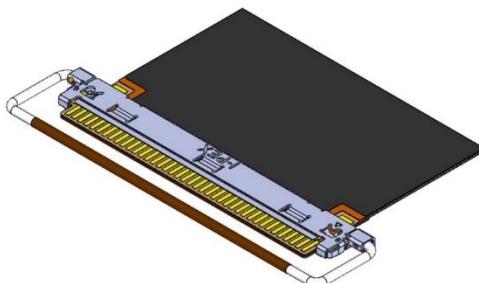


図 1. Plug shell assembly with FPC

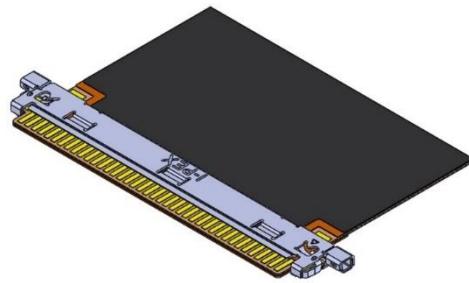


図 2. Plug shell with FPC

・リセプタクルコネクタ

品名/品番: CABLINE-VS receptacle assembly/ 20455-0**E-##

“* *”には各芯数番号、“###”にはバリエーション違いの表記になります。詳細は、図面を参照願います。

2. コネクタ各部名称

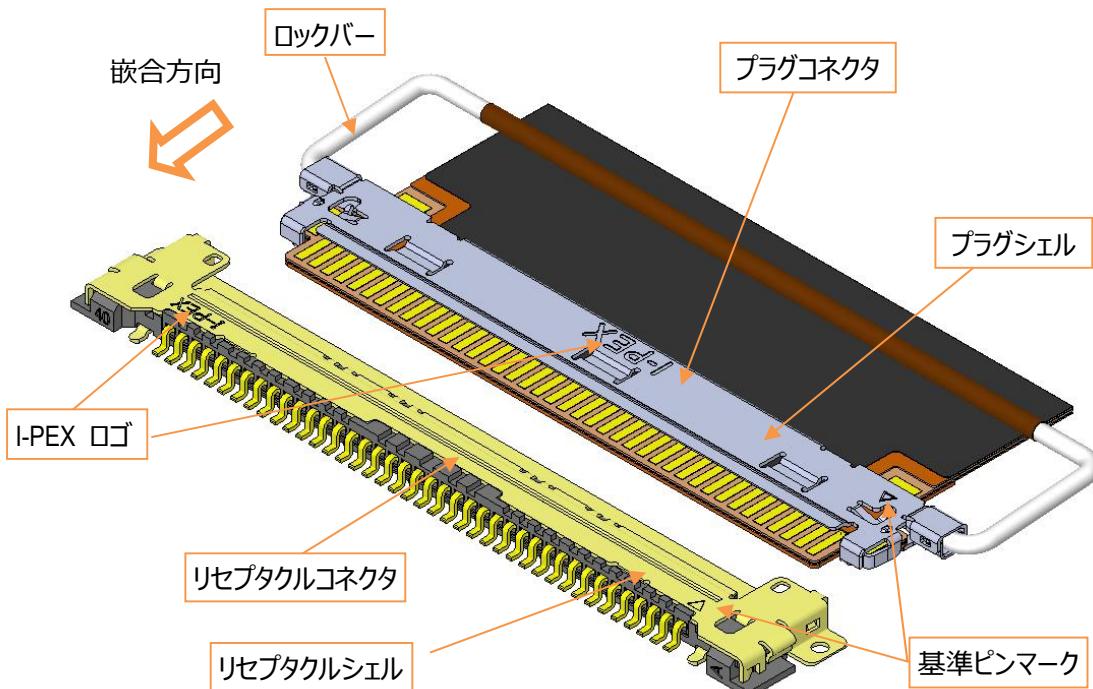


図 3. コネクタ各部名称

3. コネクタ挿入手順

Shell (ロックバー無し)

3.1 プラグコネクタとリセプタクルコネクタの基準ピンマークが同じ側に来る様にセットする。

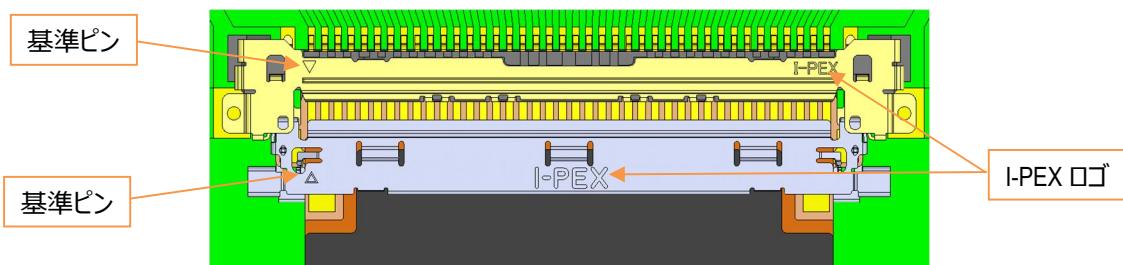


図 4. 基準ピンマーク位置

3.2 水平方向の挿入角度は 5°以内、垂直方向の挿入角度は 8°以内で、プラグコネクタをリセプタクルコネクタに対して真直ぐになるまで挿入方向に過度な荷重を加えず仮挿入を行う。

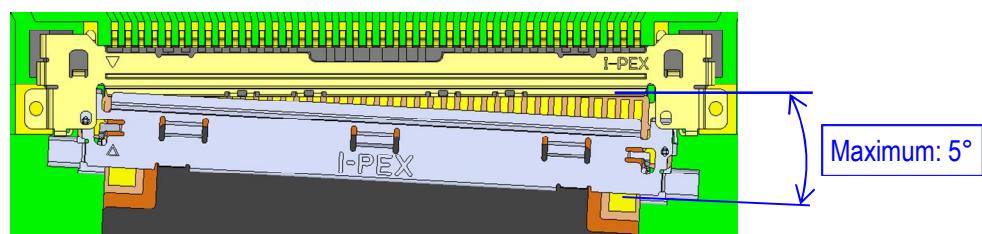


図 5. 水平方向 最大挿入角度

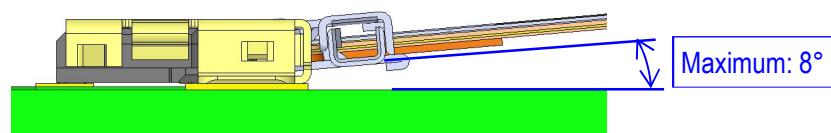


図 6. 垂直方向 最大挿入角度

3.3 仮挿入後、FPC を掴んで水平に挿入し、隙間がないかを確認する。

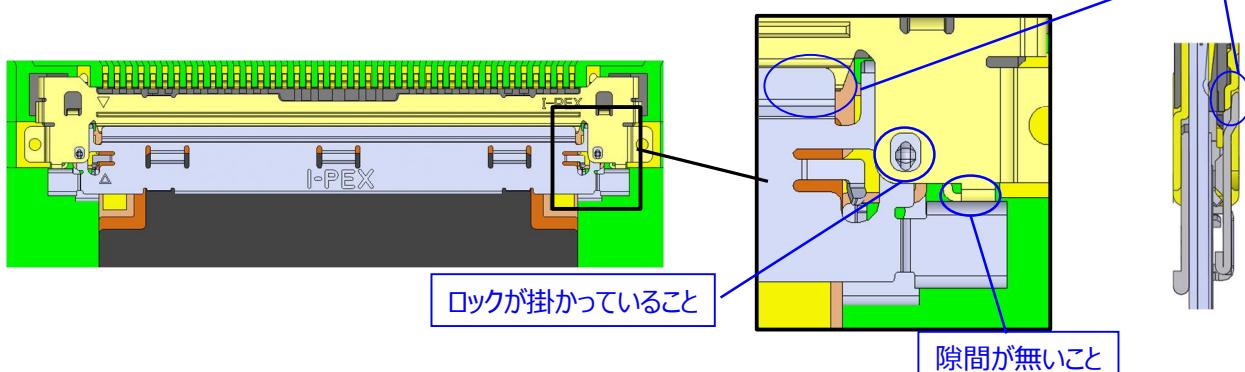
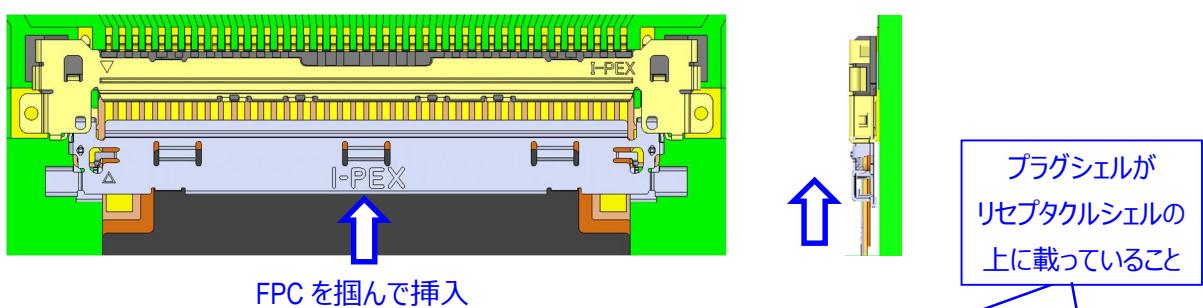


図 7. プラグコネクタ嵌合確認

Shell Assembly (ロックバー付き)

3.1 プラグコネクタとリセプタクルコネクタの基準ピンマークが同じ側に来る様にセットする。

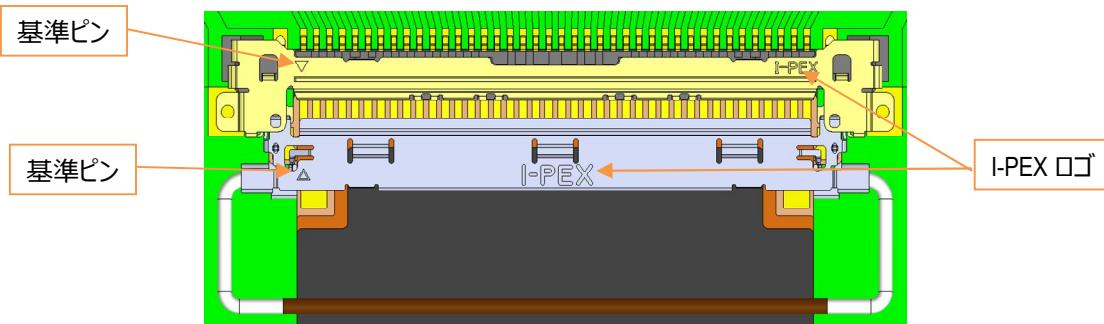


図 8. 基準ピンマーク位置

3.2 水平方向の挿入角度は 5°以内、垂直方向の挿入角度は 8°以内で、プラグコネクタをリセプタクルコネクタに対して真直ぐになるまで挿入方向に過度な荷重を加えず仮挿入を行う。

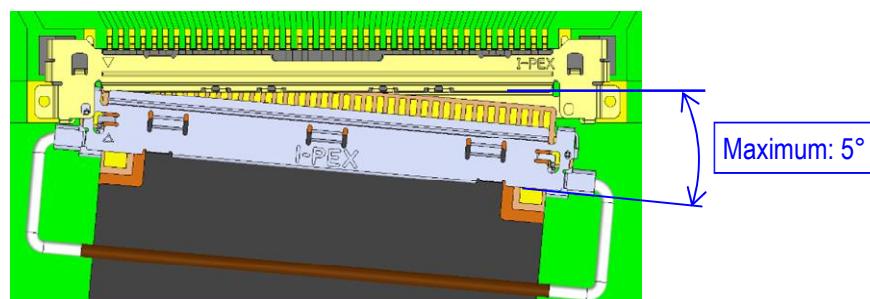


図 9. 水平方向 最大挿入角度

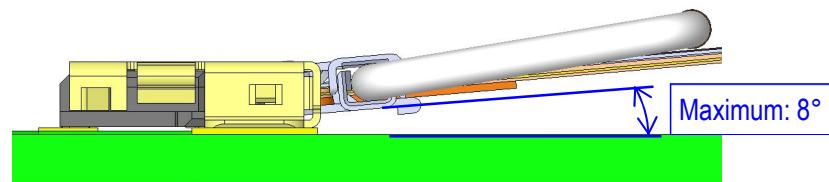


図 10. 垂直方向 最大挿入角度

3.3 仮挿入後、ロックバーをリセプタクルコネクタ側へ回転させる。

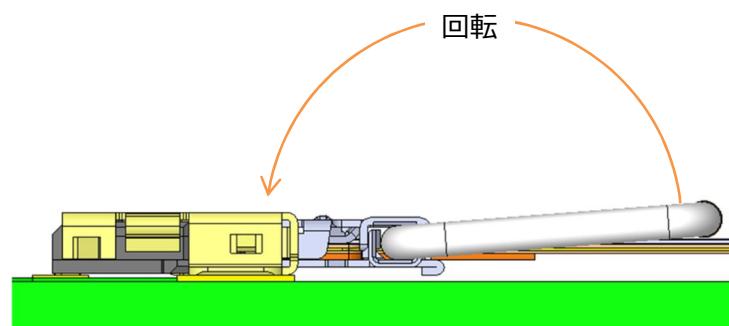


図 11. ロックバー操作

3.4 ロックバー回転後、FPC を掴んで水平に挿入し隙間が無いか確認する。

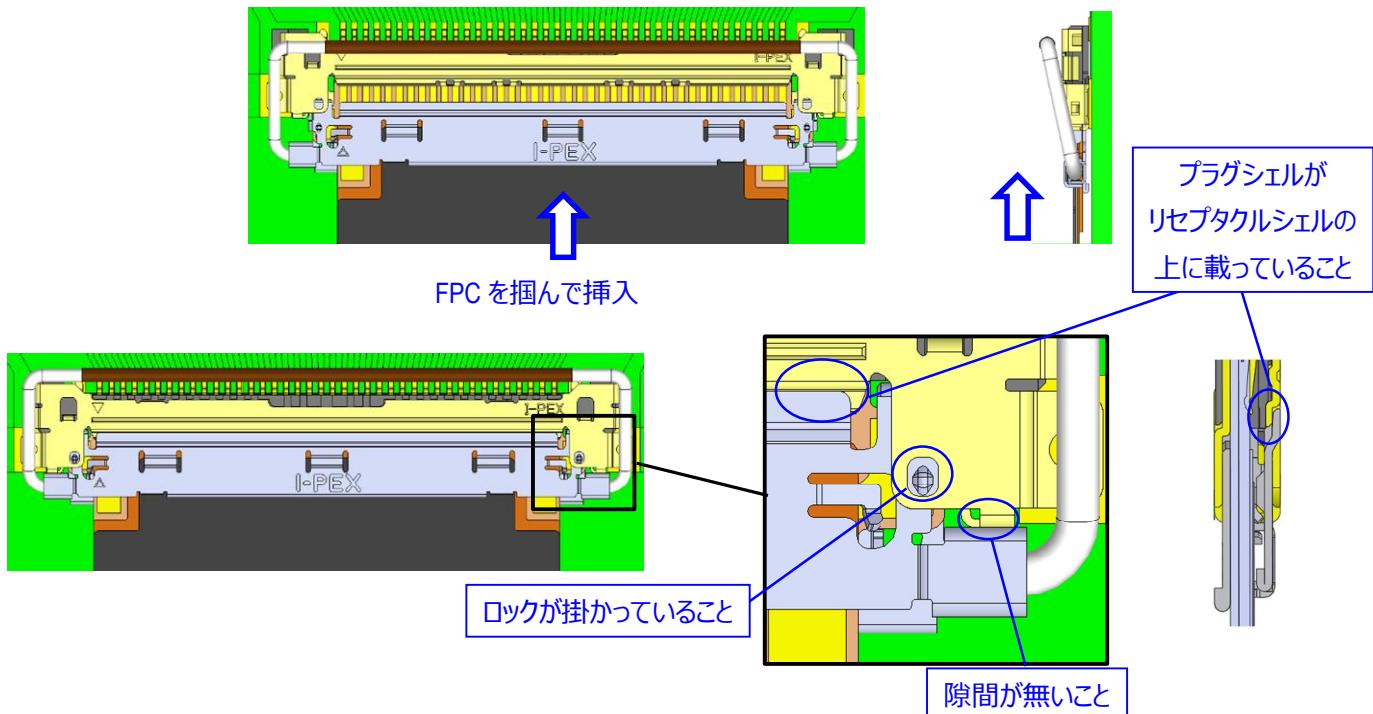


図 12. プラグコネクタ嵌合確認

3.5 ロックバーの青丸箇所を基板側へ押して込んで、リセプタクルコネクタと嵌合する。

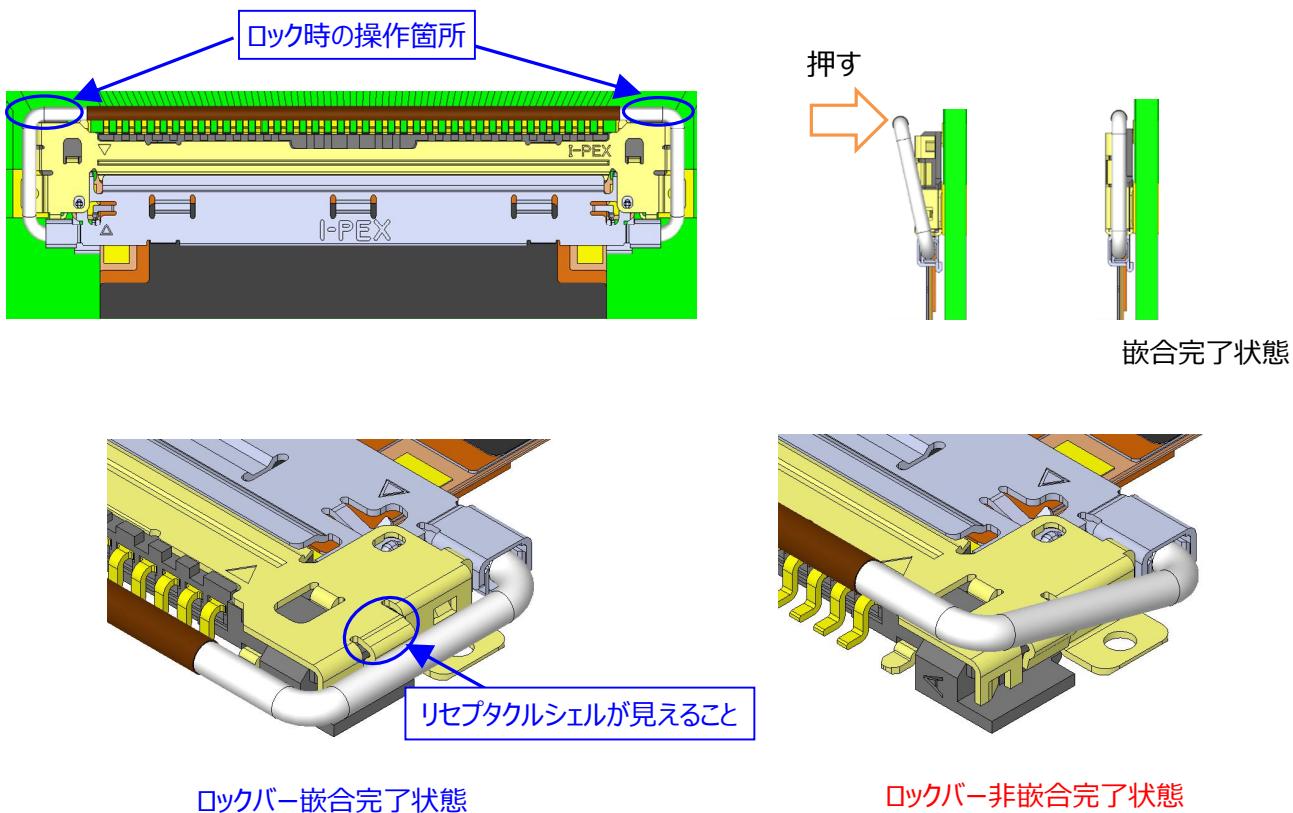


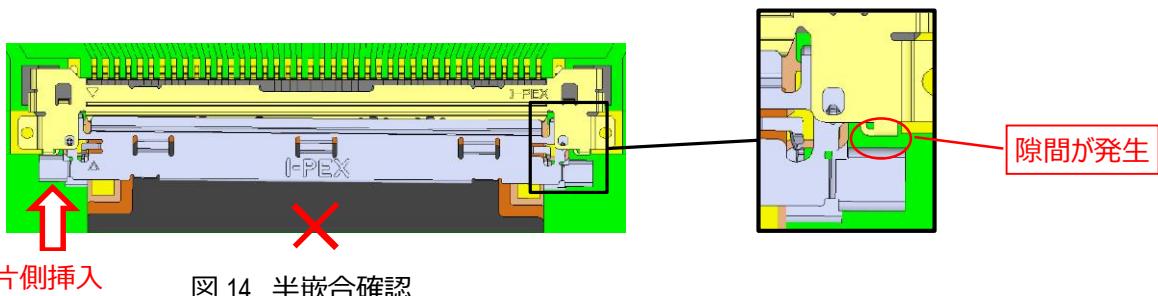
図 13. 嵌合ロック方法

共通

注意事項 1

プラグコネクタを片側に傾けて挿入しないで下さい。半嵌合になる原因となります。

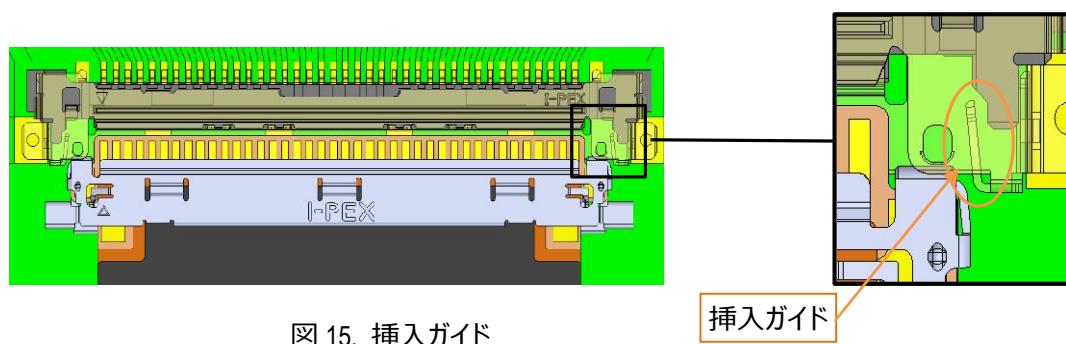
*隙間がある場合、嵌合完了していない状態になります。



注意事項 2

プラグコネクタがリセプタクルシェルの挿入ガイドに沿って挿入してください。

挿入ガイドに沿って挿入されない場合、コネクタが変形する原因となります。



注意事項 3

仮挿入時に水平方向のこじり角度は、5°以下で挿入してください。

こじり角度が、5°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

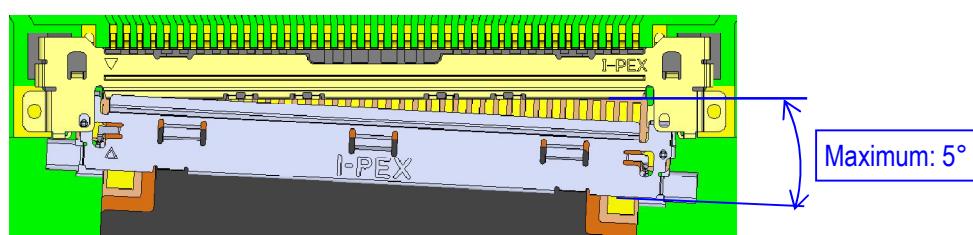


図 16. 水平方向 最大挿入角度

注意事項 4

仮挿入時に垂直方向のこじり角度は、8°以下で挿入してください。
こじり角度が、8°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

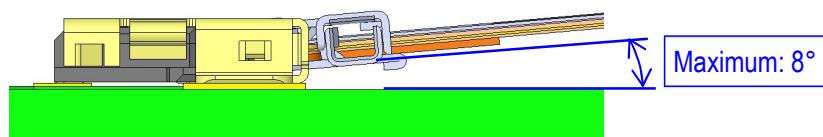
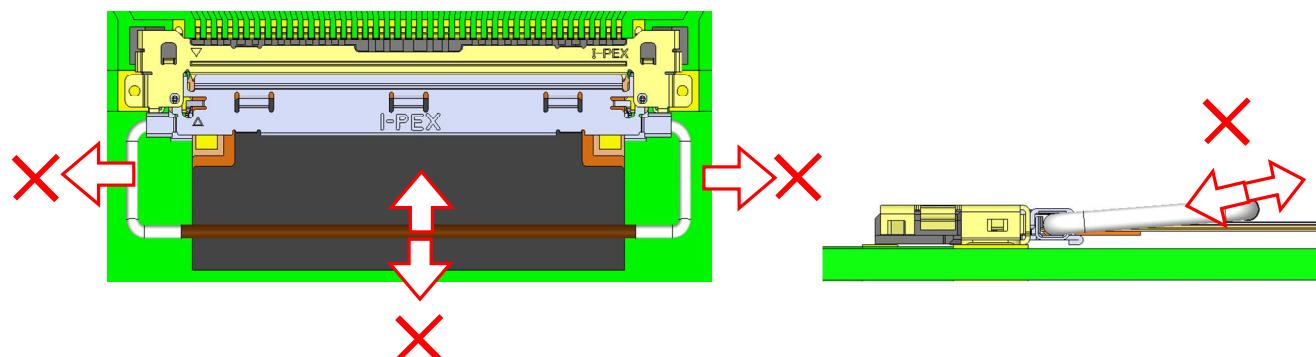


図 17. 垂直方向 最大挿入角度

Shell Assembly (ロックバー付き)

注意事項 5

ロックバーを横方向に開く、シェル方向へ押す、反シェル方向へ引っ張る等の行為をしないでください。
ロックバーが外れるまたは変形・破損する原因となります。



ロックバーを直接押したり・引いたりしないでください。

図 18. ロックバー取扱い(NG)

注意事項 6

外れたロックバーを再び取り付けて使用しないでください。変形し機能を満たさない原因となります。

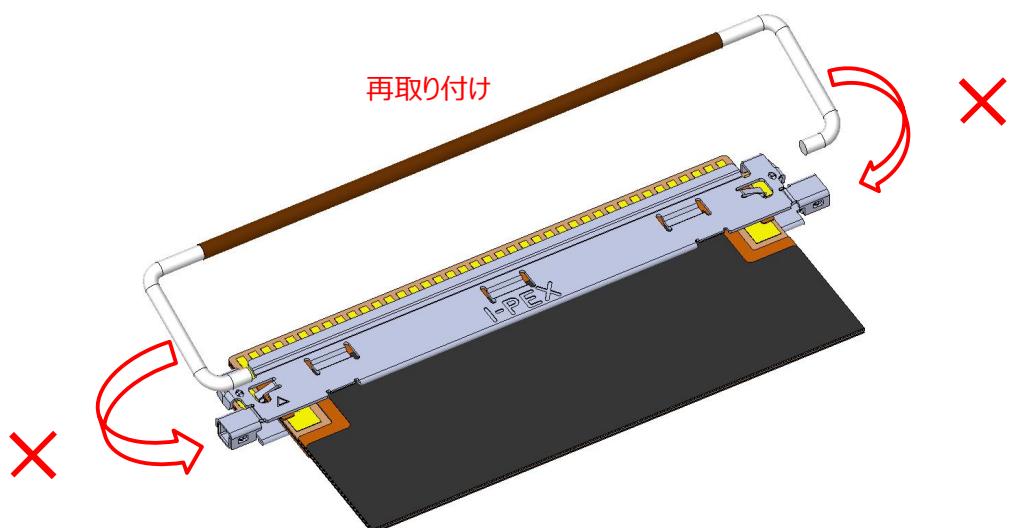


図 19. ロックバー再取り付け(NG)

4. コネクタ抜去手順

Shell (ロックバー無し)

4.1 プラグコネクタのFPCを掴んで水平に抜去する。

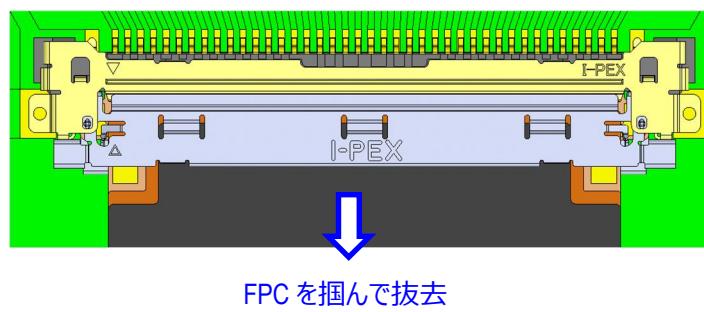


図 20. 抜去操作

Shell Assembly (ロックバー付き)

4.1 リセプタクルコネクタとの嵌合ロックを解除させる為に、ロックバーの青丸箇所を基板側から引上げて回転させる。

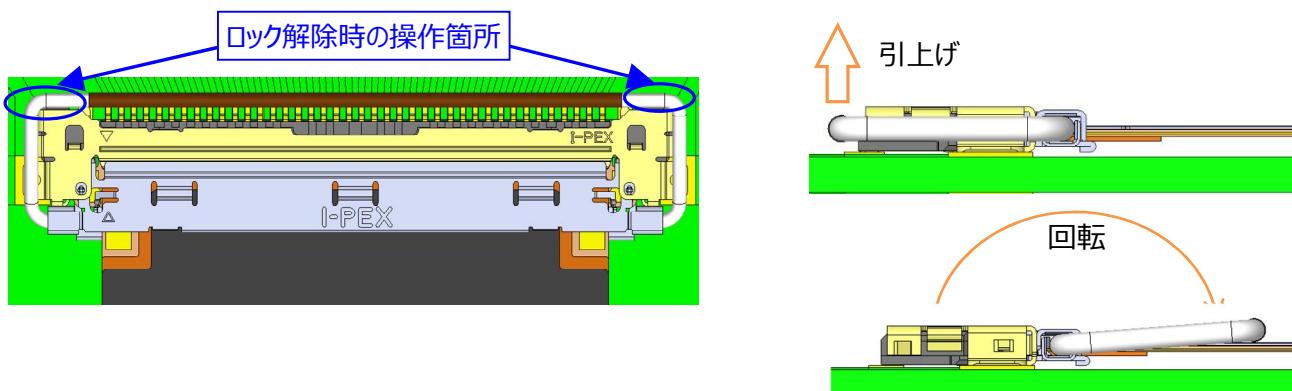


図 21. ロックバー解除操作

4.2 プラグコネクタのFPCを掴んで水平に抜去する。

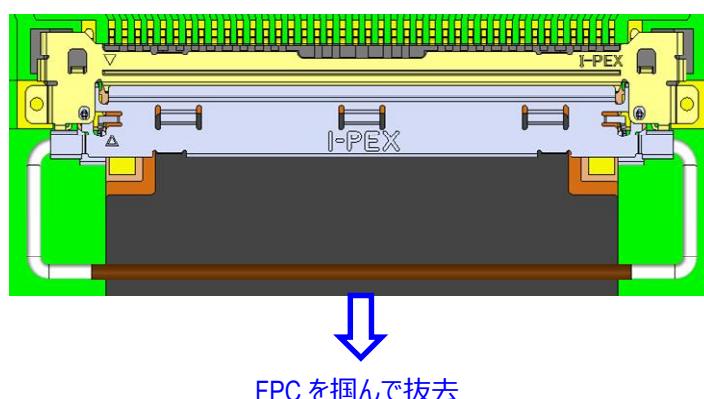


図 22. 抜去操作

共通

注意事項 7

抜去時に水平方向のごじり角度は、5°以下で抜去してください。
ごじり角度が、5°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

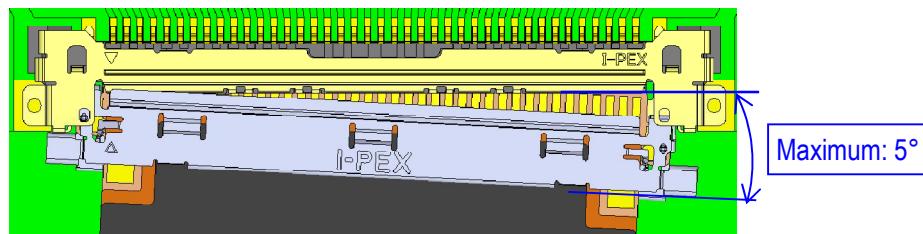


図 23. 水平方向 最大抜去角度

注意事項 8

抜去時に垂直方向のごじり角度は、8°以下で抜去してください。
ごじり角度が、8°を超える場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

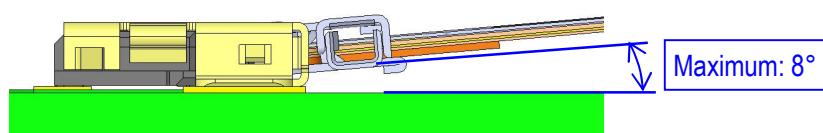


図 24. 垂直方向 最大抜去角度

Shell Assembly (ロックバー付き)

注意事項 9

ロック解除時にロックバー絶縁コート部の内側で操作して解除してしないでください。ロックバーが変形する恐れがあります。
絶縁コート部に金属等の硬いものを当てるると絶縁コートが剥がれる恐れがあるので、ご注意お願い致します。

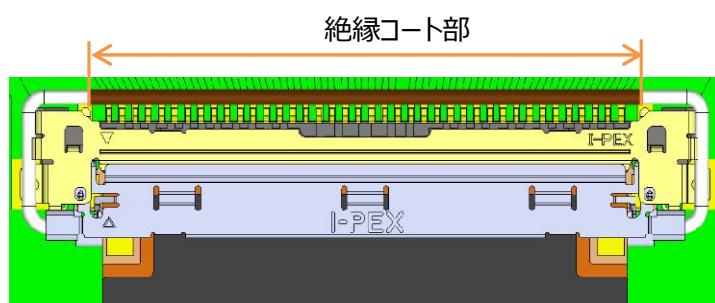
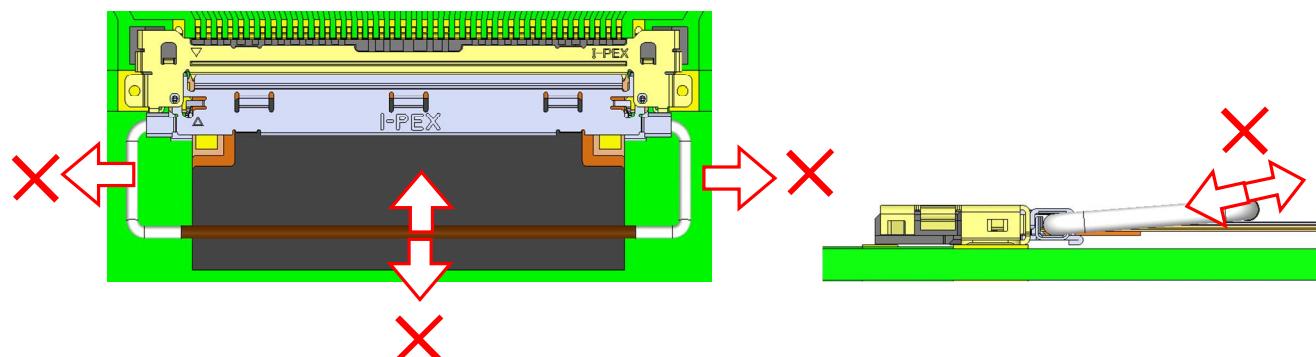


図 25. 絶縁コート部

注意事項 10

ロックバーを横方向に開く、シェル方向へ押す、反シェル方向へ引っ張る等の行為をしないでください。
ロックバーが外れるまたは変形・破損する原因となります。



ロックバーを直接押したり・引いたりしないでください。

図 26. ロックバー取扱い(NG)

注意事項 11

外れたロックバーを再び取り付けて使用しないでください。変形し機能を満たさない原因となります。

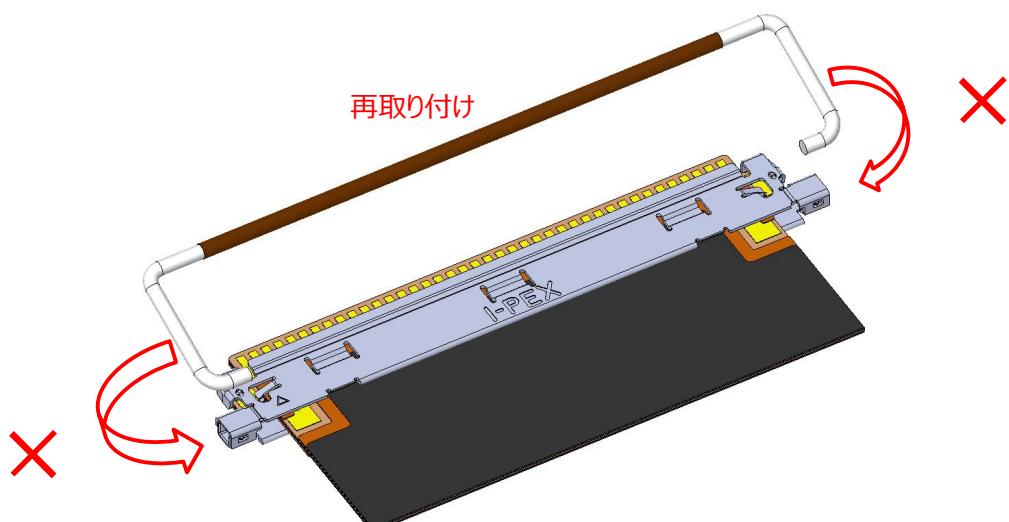


図 27. ロックバー再取り付け(NG)

5. コネクタ取扱いにおける注意事項

共通

5.1 コネクタ嵌合時に、プラグコネクタのFPC又はロックバーを垂直方向に引っ張らないでください。

リセプタクルシェルが変形・破損する原因となります。

FPCとプラグシェルを半田していない場合は、FPCがプラグシェルから脱落します。

反基板側へ引っ張らないでください。

反基板側へ引っ張らないでください。

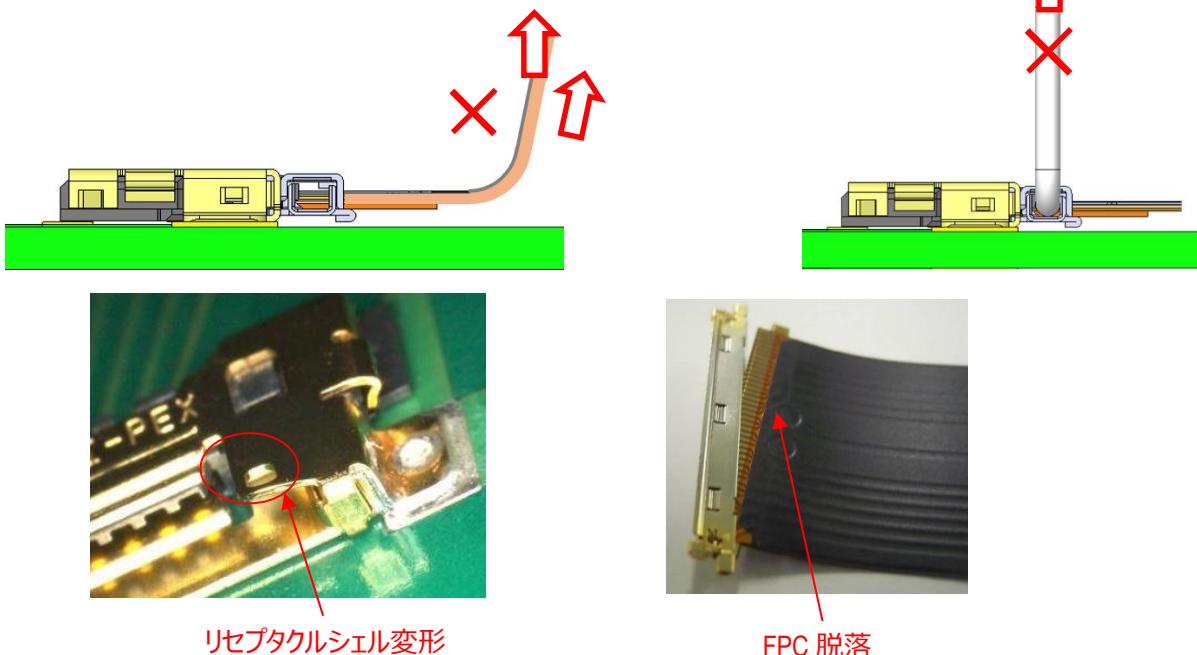


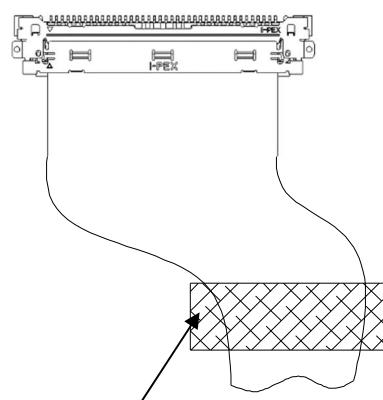
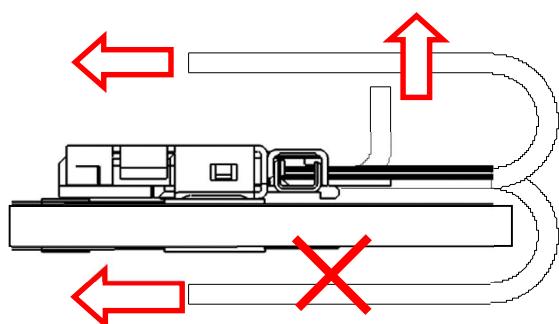
図 28. FPC とロックバーの操作(NG)

5.2 FPC 引き回し時に、コネクタに過大な荷重が掛からない様にしてください。

また、常にコネクタに荷重が掛からない様に引き回してください。

コネクタの破損、嵌合不良、FPCの断線する原因となります。

下図のFPC引き回しを行う場合、コネクタ嵌合部に過大な負荷を与えます。



コネクタ嵌合部に荷重が掛からない様に
FPCを固定する等の対処してください。

図 29. FPC の引き回し(NG)